



みんなで守ろうJR赤穂線 邑久駅前集会

安全で安心なローカル線を守ろう

列車減便を元のダイヤに・駅員の配置を

地本は、「みんなで守る赤穂線の会」と共催し、5月14日10時より赤穂線邑久駅前において、「みんなで守ろうローカル線 邑久駅前集会」を開催した。
鉄道は地域の公共交通の要であり、運行便数の確保は、通学、通勤者及び高齢者にとっては、生活に不可欠なものです。JR西日本が地域とともに歩み発展していく公共交通としての役割を果たす事を求め、集会を開催した。参加人数は90名(国労20名)でした。

集会は、島津幸恵さんの

司会で、まず、国鉄合唱団14名(大阪・四国・広島・岡山)のうたごえ2曲で始まりました。

島津幸恵瀬戸内市議

赤穂線は10便削減され、赤穂線すべての駅が無人化され、利用者から切符が買えないなどの苦情が寄せられる。黙っていてもはダメだと思ひ、「安全な赤穂線を守る会」と立ち上げた。今後も赤穂線を守り、ローカル線を守っていく。

三宅地本副委員長

私たちは、昨年3月ダイヤ改正で列車減便され、関係自治体と意見交換してきました。瀬戸内市においては武久市長が出席され、列車の運転区間短縮に対しての強い憤りをもっている。JRは利用者の少ないローカル線の収支を公表しまし

た。ローカル線を守る事が地域住民の生活を守る事につながります。今後も地域の皆さんと一丸となってローカル線を守る闘いを進めて行きます。

武久瀬戸内市長

メッセージ

集会の皆さん、声を上げていたいただき有難うございます。私たちも大切な赤穂線を守り、行政としてしっかりとやっていきます。

林潤岡山市議

便数と利便性は直結している。岡山市においても吉備線などをどう取り組むのか課題がある。自治体に駅前整備等をさせて無人化に

するのは問題だ。交通弱者に対して安全を見守れる駅員が必要だ。

その後、青山地本書記長の基調報告、片岡執行委員の駅職場からの訴えがありました。

戸田奈美さん(利用者)

邑久駅が無人化になり、時計・ゴミ箱・時刻表・スタンプ台などが撤去されました。時計は必要ではないか。高齢者や観光客が駅員がいけない為、誰も尋ねることができない。そして、列車減便になり不便になった。

角房澄恵さん

(生活鉄道網をつくる会)

JRは、列車減便と市内3駅無人化をした。公共交

集会宣言

1. JR赤穂線をはじめ、安全で安心なローカル線を守る運動を広げます
2. 昨年のダイヤ改正で減便となったJR赤穂線を元のダイヤに戻すことを求めます
3. 大多羅駅から西相生駅間は実質、無人化になり、券売機による切符の購入となりました。安全面でも心配です。駅員の配置を求めます
4. 駅無人化に伴い、時計が撤去されました。再設置を求めます
5. かねてから要望のあった駅のバリアフリー化を求めます
6. 通勤、通学、旅行者にとって、安全で安心な運行体制を求めます
7. 以上のことを実現させるために、JR西日本や、関係省庁に要請行動をします
8. 国鉄労働組合をはじめ、関係団体や沿線自治体と共同した取り組みを進めます
9. 署名運動にも取り組み、住民とともに声をあげます。
10. 会として、学習会を開催し、みんなで守るために何ができるか知恵を出し合います

安心して利用できる赤穂線に! 学習会

日時 2022年6月18日(土) 14時~
場所 瀬戸内市中央公民館会議室
主催 みんなで守る赤穂線の会

通を担う企業としては一方的だ。瀬戸内市は駅前整備による赤穂線の活用を目指しています。15億円をつぎ込んでJRが負担するものも含んでいます。今回の改善には納得いかない。JRに改善を求めていきたい。

その後、集会宣言を採択して終了した。